

議会です こんにちは

留萌市議会だより

第138号

令和2年11月1日発行

●留萌市議会事務局

TEL42-1907 FAX43-6700

URL : <http://www.e-rumoi.jp/gikai/index.html>

E-mail : rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp

主な内容

- P10 ・市民と議会の意見交換会参加者募集！
- P11 ・第1・第2常任委員会からの報告
- P12 ・令和元年度決算審査特別委員会からの報告
- P13～P15 ・第3回定例会一般質問から
- P16 ・地方創生臨時交付金を活用した事業
- P17 ・こんなことが決まりました ほか

留萌市議会

検索



※左記のQRコードからも留萌市議会のホームページにアクセスできます。

第1常任委員会

市・地域振興部より、グラウンドオープンした道の駅るもいの開業後1カ月の来場者数は、約5万1千人。平日の平均来場者数は約1500人、土日祝日の平均来場者数は、約4000人であることが報告されました。また、駐車場の収容力や休憩スペースの確保など開業後に見えてきた課題について情報提供がありました。



▲利用者で賑わう道の駅るもい

また、市プレミアム商品券発行事業の概要の報告を受けました。個人消費の促進を図り、商業や飲食店など地元事業者を支え、応援するための事業で、プレミアム率20%の「もえトクプレミアム商品券」が3万冊、プレミアム率50%の「地元商店限定プレミアムDX商品券」が1万冊発行されます。商品券引換（販売）は10月26日から11月30日まで、使用期間は11月1日から令和3年1月31日までのことです。



▲「ワンコイン商店街」では、5店舗回った参加者にDX商品券先行予約券が配布された

第2常任委員会

留萌市立病院からの情報提供事項として、病院事業会計決算は、前年度のような一般会計からの支援を受けずに単年度収支赤字が1億円を切るまでに改善されました。しかし、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、地域に安定した医療を提供し続ける「地域センター病院」として重要な役割を担うため、入院患者および外来

患者の減少で収益が大幅に減少したことの報告を受けました。新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算
病院事業会計では、PCR検査装置・CT撮影装置・感染者患者通用口改良工事などの医療環境・機器の整備に対する補正予算約2億2500万円と医療従事者慰労金など1億3600万円など。
市民健康部からは、はーとふるやるもい健康の駅の飛沫予防パネルや蛇口の自動化に約410万円、

地域包括支援センター勤務者に対する慰労金50万円など。
教育委員会からは、手洗い場の自動水栓、空気清浄器などの学校再開新型コロナウイルス予防事業費1500万円、小・中学校内消毒と網戸の設置など約1530万円の衛生環境改善業の概要、社会教育施設感染症予防対策事業約720万円、学校給食センター空調換気設備改修事業5600万円など事業概要と内訳について報告があり、確認しました。



▲感染者患者通用口改良工事中の市立病院

令和2年度「市民と議会の意見交換会」

テーマ コロナ禍が変えた 私たちの暮らし

参加者募集

～直面する課題、その先を見つめて～

これからの生活のこと…イベントのあり方など、みんなで一緒に考えよう！

【とき・ところ】
2020年
11月13日(金)
18:30～(90分間程度)

第1部 議会報告 第2部 意見交換

【参加申し込みについて】

参加を希望される方は、必ずお名前、電話番号、性別、年齢を、上記「留萌市議会事務局」まで、お電話にて事前申込をお願いします。

※定員に限りがございます。

※託児を希望される方は、あわせて申し込み願います。

応募締め切りは
11月5日(木)

留萌市中央公民館
(留萌市見晴町2丁目)
託児スペースを開設
※事前にお知らせください

留萌市議会では「市民にわかりやすく・開かれた議会」、「市民参加の機会の拡充」及び「市民への説明責任を果たす」を実現することを目的として、毎年「市民と議会の意見交換会」を開催しています。今回の「市民と議会の意見交換会」の開催にあたり、「密閉」「密接」「密集」の3つの密を避け、感染を予防する「新しい生活様式」の実践に取り組み、開催に臨みます。また、新型コロナウイルス感染症の発症状況によっては、開催を中止する場合があります。

9月9日から10日まで決算審査特別委員会を開きました。

令和元年度決算審査特別委員会からの報告 (一部抜粋)

が増え続けているので、予約制を導入して、多くの児童を受け入れるように取り組んでいる。

【衛生費】

Q クリーンステーション整備事業の内容は。

A 腐食が激しく、修繕不可能なゴミステーションを約5年かけて順次整備していく。さびに強い亜鉛メッキにすることで、ペンキ塗りなど町内会の負担を軽減したい。

Q 市営墓地で、墓じまいなど増えているが、現在の区画利用数と合同墓の利用件数は。

A 市営墓地は、1,934区画あるが、年間に10件以上の返還があり、現在1,849の利用。開設後1年経過した合同墓は、新規で43件・103体の納骨数になっている。

【労働費】

Q 地元若者人材育成事業について伺う。

A 留萌高校職業科および部活動で主な事業展開をしている。今後普通科の生徒も対象とした講演なども予定している。

Q 人材開発センターの移転協議について。

A 旧北光中学校校舎への移転については、今後あらためて協議する。

【農林水産業費】

Q 森林経営管理事業について。

A 私有林の対象者を調査した。今後、適切な管理が行われていない私有林所有者に対し、経営管理の意向を調査し、適切な管理を行う。

Q 農業振興事業補助金について。

A 平成30年7月豪雨の災害に伴う水稲農家へ、復旧支援補助対象外である少額復旧工事および水稲種子購入費用の支援などの助成を行った。

【総務費】

Q 合計特殊出生率でどういう予測のもと、1.69という高い目標値を掲げているのか。

A 子育て世代をサポートする施策をしていることから、今後も充実させて目標値を達成していく。

Q 自主防災組織の助成を受けた団体数と、そで行われた活動は。

A 令和元年は60団体中49団体が助成を受けた。マップ作りや自主的な防災訓練、備蓄品の整備などが行われた。

Q ふるさと応援推進事業で2億8,000万円の応援寄付をいただいたが、次年度の目標は。

A 385%伸びたので、引き続き、さらに伸ばしていく。リピーターを増やすため、地元企業の理解と協力をいただき、返礼品の訴求力を高めていく。

【民生費】

Q 病児保育運用開始から1年。登録者数と利用人数は。

A 登録者数は60人。年間25人の利用があった。利用しやすくなるため、当日の利用も可能としたので利用拡大している。

Q 待機児童の推移を聞きたい。

A 平成31年4月1日には38人いたが、小規模保育所「すまい留」の開設で10人まで減少した。



▲「すまい留」での保育

Q 留萌市子ども発達支援センターの在籍者と運営課題は。

A 在籍者数は、118人。在籍者数

令和2年第3回定例会

一般質問と答弁



とみす みほこ
戸水美保子
留萌公明党

質問 高齢者の入浴機会の確保について

平成28年に市内の銭湯が廃業し、自宅にお風呂がない方々が、市内唯一の温泉施設を利用している。このほど、温泉施設が運行していたバスが9月末で廃止されることになり、利用者は大変困っている。安心して暮らせるまちづくりのため、市として移動支援はできないか。

向けて対策を練っていききたい。

質問 投資を促す戦略について

企業版ふるさと納税制度は、令和6年度までの特例措置であることから、制度活用前提となる「地域再生計画」を早急に作成し、国の認定を受け、市外からの投資を呼び込んではどうか。

答弁 市外の企業が応援したくなるような事業立案が大事と考えている。有効に国の制度も使いながら、企業とつながっていききたい。



よこた みき
横田美樹
萌政会

質問 新生活様式と教育環境の変化
新たな生活様式が実践されている環境において、GIGAスクール構想の整備に伴う教育環境の変化に対し、学校と家庭の連携やインターネット利用による変化への対応について

答弁 一人1台端末の整備、GIGAスクールサポーターの配置など、国の構想に基づいた整備を進めている。ネットワーク環境による教育格差を広げない環境づくりを行なっていく。また、部活動などの練習時間低下に伴う体力低下への対応策の検討する。

質問 医療・福祉対策について



▲医療・住民を守る感染症対策を行っている市立病院

市立病院の感染症対策と医療従事者を守る対策、市民に対しての予防啓発と健康維持・増進について、また、今後の市立病院の管内連携について伺う。

答弁 院内感染の防止とマニュアル化・予防策の徹底を行い、市民に対して感染症予防と生活機能低下予防について啓発していく。留萌医療圏の救急医療体制確保のためルールの見直しについて早急に検討が必要である。



のざき よしお
野崎良夫
無党派

質問 市政運営について
中西市長の任期は、野球に例えらると7・8・9回の後半戦となり、総仕上げの期間(残り1年6カ月)となるので、市政運営の後半戦に臨む「意気込み」



▲新信砂浄水場新信砂川取水口付近

答弁 経営戦略に基づいて、工事を進めて行くが、工事総額は37億円程度となる。水道料金の改定については、令和4年度において改定率10%を考えている。



かいとう よしおり
海東 剛哲
萌芽クラブ

質問 道の駅リピーター増への施策成長する道の駅として、将来構想を来訪者が認識し、再訪する動機を与えるために、完成図の掲示など見える発信方策の導入・明確化の必要性をどのように考えているのか。
来訪者が求める利便性として、ごみ箱の設置や場内での喫煙場所などの声が聞かれるが、道東などで展開されているエコ捨て運動（旅行者のごみの有償引取）は考えられないか。
検討に入っている屋内交流・遊戯施設の整備や構想にある屋外物販などの完成を100とすると、現在は何%の完成と捉えているのか。



▲今後も整備が進む道の駅るもい

答弁 るしんふれ愛パークやJR留萌

駅周辺も含めて考えると、道の駅るもいの完成度は20%だと捉えている。建物の完成予想図やジオラマなどで来訪者への再訪を促して行きたい。
ごみの減量化を第一に考え、来訪者には持ち帰りを基本としつつも、利便性向上を考えた中では観光客が地域のルールを守り、一定の負担を行うごみの有償引取も検討が必要と考える。



むらやま
村山 ゆかり
萌芽クラブ

質問 JR留萌本線とまちづくり8月開催の沿線自治体会議で、沼田町・留萌市間の廃止とバス転換を容認することで一致したようだが、今後の焦点について聞きたい。
深川・沼田間の存続の可能性はあるのか。留萌駅周辺での社会教育施設整備の想定スケジュールを聞きたい。

答弁 焦点は、部分存続の可能性について情報の収集と代替交通の組み方、支援の内容についてJRの考え方を確認し、論点整理すること。部分存続が可能かは分からないが、次回の会議でJRの考えを聞き、次の段階に進みたい。次年度の秋までに留萌駅周辺での公共施設整備構想を示したい。

質問 留萌十字街西ビルの活用
新たな防災備蓄倉庫場所に設定された留萌十字街西ビルの活用についてお聞きしたい。

答弁 防災備蓄倉庫としての活用を第一にさまざまな公共施設の内容を処理していきながら、西ビルのあり方を再度検討する必要があると考えている。



▲一部が防災備蓄倉庫として活用される留萌十字街西ビル



こめま きよみ
小沼 清美
無党派

質問 コロナ禍での学校生活について
新型コロナウイルス感染症から子どもたちを守る学習環境について伺う。

答弁 各学校に非接触式体温計などの衛生用品を配付。北海道の教育長会議では、新型コロナウイルス対策の身体的距離の確保のためにも、文部科学省に少人数学級の早期実現を要望している。

質問 JR留萌本線について
第5回沿線自治体会議の内容を伺う。

答弁 会議の中で沼田町は、深川市ま

昨年11月に考え方が示された新たな公共施設誘導ゾーンの進め方に注視している。交通ターミナルなどの新たなまちづくりの進め方について市長の見解をお聞きする。



▲JR留萌駅周辺

答弁 鉄道用地を無償譲渡された場合、新たなまちづくりを進めるために、市内循環バス、都市間バスの交通ターミナルの整備は理想と考えている。

質問 社会教育施設整備について
新たに建設を想定している社会教育施設は、文化センター、公民館、スポーツセンターの主要三館を船場公園エリアに整備を考えているのか。今後において財源確保が課題となるが、都市再生整備計画への変更についてお聞きする。

答弁 船場公園エリアは大きな施設を建設する事が可能と考えている。今後は官民で子どもから高齢者まで利用で



はが ひろやす
芳賀 博康
民進

質問 室内交流・遊戯施設について
留萌市は船場公園エリア内に全天候型子どもの遊び場づくりを進めているが完成後の効果について伺う。

答弁 若い世代や親子、家族を主な利用層として、観光客の受け入れ増加を図り、地域特産物、観光などの情報発信とともに、市内外からの利用者の交流憩いの場として活用されることで新たな賑わいの創出が図れると考えている。

質問 指定管理者のへ影響について
新型コロナウイルス感染症が指定管理者の運営に与えた影響について調査を実施しているのか。また、支障が生じた場合の対策について伺う。

答弁 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の中止や貸館のキャンセルによる施設使用料の減収が懸念されることから、管理経費、感染予防経費などの調査を行い運営状況を把握している。また、管理・運営に支障が生じることがないよう必要な支援策を検討する。



▲指定管理者制度により、管理・運営されている中央公民館

「留萌市議会だより（第137号）」の令和2年第2回定例会一般質問と答弁で、鶴城雪子議員の2つ目の質問と答弁が欠落していましたので、左記に掲載します。

質問 るもいプラザ移転後の取組
新るもいプラザの存続を喜ぶ声が大半だが、駐車場への誘導方法として2階への急な階段の手すりなどの整備が必要と考えるが、市の考えを伺う。

答弁 さまざまな対策をテナント会や連合会と相談しながら検討して行く。

「みなとオアシスるもい」セレモニーに全議員が出席

8月26日、船場公園（るしんふれ愛パーク）において、「みなとオアシスるもい」登録記念セレモニーが行われ、小野議長をはじめ議員14人全員が出席しました。

みなとオアシスとは、港を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設を国土交通省港湾局長が登録するものです。

みなとオアシスるもいは、全国で141カ所目、道内で12カ所目になります。港関連企業5社から寄贈されたシンボルマークの除幕式が行われました。



港湾業務艇「ゆりかもめ」での「みなと見学会」が行われ、留萌港を周遊。東岸船溜まりをスタートし、北岸・古丹浜埠頭・三泊埠頭での物流の説明、土木遺産に指定されている南防波堤の歴史を垣間見る時間となりました。



つばめ まさかつ
燕 昌克
萌政会

質問 船場公園地区周辺エリアの整備について



▲JR留萌駅構内

で通学する高校生の唯一の足として沼田・深川間のJR存続を求めることを述べ、深川市は、国への要望締切の9月末まで様子を見て、もっと国に話を求めていくべきとの意見を述べた。
留萌市は、公共交通を含めた今後のまちづくりに向けて、議論を一步進めていきたい意向を伝えた。
今後、国の予算の動きについても情報収集しながら、留萌・沼田間の路線廃止と深川・沼田間の部分存続について、沿線自治体会議としてJR北海道と具体的な協議を行っていくというこ

こんなことが決まりました

令和2年 第3回定例会
9月1日～11日

令和2年（2020年）第3回定例会が11日間の会期で開催され、認定3件、報告3件、議案13件、意見書案5件などを審議しました。

- 【認定】**
- 令和元年度留萌市各会計歳入歳出決算の認定について
 - 令和元年度留萌市水道事業会計決算の認定について
 - 令和元年度留萌市病院事業会計決算の認定について
- 認 定
- 【報 告】**
- 令和元年度留萌市の健全化判断比率の報告について
- ほか2件 了
- 【議 案】**
- 令和2年度留萌市一般会計補正予算（第13号）について
 - 令和2年度留萌市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について
 - 令和2年度留萌市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について
 - 令和2年度留萌市水道事業会計補正予算（第1号）について
 - 留萌市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について
 - 留萌市過疎地域自立促進市町村計画の変更について
 - 令和2年度留萌市病院事業会計補正予算（第1号）について
 - 留萌市副市長の選任について
 - 留萌市教育委員会委員の任命について
- ほか4件 原案可決
..... 同 意
- 【意見書案】**
- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
 - 国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書
 - ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化を求める意見書
- ほか2件 原案可決

プレミアム商品券 発行事業など 予算議案を可決!

第4回臨時会・
第3回定例会で

国から交付される「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の2次～3次配分額5億5千万円の申請事業について、留萌市議会にて協議・提案し、第4回臨時会および第3回定例会において予算議案を可決しました。*留萌市議会による提案が決定した事業を抜粋。

■GIGA構想・光ファイバ

- ・小中学校のネットワーク整備、1人1台端末配置
- ・ICT環境整備 ・遠隔オンライン学習整備

■病院支援・消防手当

- ・人工呼吸器やCT等医療機器整備など
- ・留萌消防署危険手当など.....ほか

■消費喚起・事業継続

- ・プレミアム商品券(プレミアム率20%、50%)発行
- ・下水道料金負担軽減

■新しい生活様式

- ・公共施設のトイレ洋式化、センサー対応蛇口整備
- ・事業者のトイレ改修など感染予防対策設備支援
- ・校内消毒支援
- ・防災備蓄資機材購入
(ダンボールベッドなど)
- ・校外授業バス借上
- ・市民活動(イベント)支援
- ・文化芸術・スポーツ活動支援
- ・子ども発達支援センターICT整備 ほか



▲小中学校のオンライン学習風景

編集後記

「8議員が市政を問う！」
議会広報広聴常任委員会では雑誌の中づり広告を意識した「留萌市議会かわら版定例会号」を作成しました。新型コロナウイルス対策のためしっかり換気を行い、マスクをし、一般質問の時間も6分に短縮され、大変暑い中で、「かわら版」のインパクトに負けない活発な議論がかわされました。11月13日に開催される「市民と議会の意見交換会」では、3密をさける工夫をしながら、新型コロナウイルス禍での生活について、幅広い層の市民の皆さんの声をお聞かせします。市民の意見が市政に生かされる有意義な会になるよう、議員一同が協力して準備を進めています。これからも市民が議会に関心を持っていただけるように、取り組んでいきます。(清)

各組合議会からの報告

留萌南部衛生組合議会

令和2年8月26日、留萌南部衛生組合議会第2回定例会が開催されました。

議題は令和元年度の歳入歳出決算の認定、令和2年度補正予算、議会会議規則の一部改正など5件で、その結果、南部衛生組合の予算は、8億2,899万7,000円となりました。

今議会の特徴は、野崎組合議長が就任以来、課題提起をしてきました「一般質問のルール化、会議規則の一部改正(規律について明確化)」が実現したことです。

今回、組合議会として初めて一般質問が行われ、海東剛哲議員が「ごみ焼却施設の検討状況について」質問しました。



令和2年度上半期 留萌市議会議員出席状況 (4月1日～9月30日)

議員名	出席日数														
	①横田美樹	②小沼清美	③海東剛哲	④芳賀博康	⑤燕昌克	⑥珍田亮子	⑦米倉靖夫	⑧戸水美保子	⑨小野敏雄	⑩笠原昌史	⑪笠原雪子	⑫村上均	⑬野崎山ゆかり	⑭野崎良夫	
委員会名等	開催日数														
定例会(開会日)	8	8	8	8	8	8	8	7	8	8	8	8	8	8	8
臨時会	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
特別委員会(予算審査)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別委員会(決算審査)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
議会運営委員会	11	-	-	-	-	11	11	-	-	11	11	-	11	11	-
第1常任委員会	10	10	-	-	-	-	10	8	10	-	10	-	-	10	10
第2常任委員会	10	-	10	10	10	10	-	-	-	10	-	10	9	-	-
議会広報広聴常任委員会	5	5	5	5	5	-	5	-	5	-	5	-	-	5	-
全員協議会	7	7	7	7	7	6	7	7	7	7	5	5	7	7	7

※(公)は公の要件による欠席
 ※(病)は入院などによる欠席
 ※(監)は監査による欠席
 ※(-)は出席対象外の会議
 ※委員会は開催状況によって出席回数異なる